

様式第6号

説明会開催結果報告書

令和5年6月23日

堺市長 殿

住所(所在地) 大阪市住之江区南港北一丁目14番16号
氏名(名称) 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
(代表者氏名) 会長 十倉 雅和
(電話番号) 06-6625-8678

下記のとおり準備書の記載事項を周知させるための説明会を開催したので、堺市環境影響評価条例第27条第2項の規定により報告します。

記

- 1 対象事業の名称：2025年日本国際博覧会 会場外駐車場
- 2 開催日時：令和5年6月18日(日) 午後2時～午後3時
- 3 開催場所：サンスクエア堺「堺市立勤労者総合福祉センター」2階 第1会議室
- 4 参加人数：8名
- 5 開催の周知をした地域：堺市堺区
- 6 事業者側の主な出席者
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会：藤谷、岸田、三田、山崎
株式会社建設技術研究所：牧、劉、八木、瀧沢、大石

2025年日本国際博覧会会場外駐車場「(仮称)堺駐車場」 環境影響評価準備書 説明会

議事概要

日時：令和5年6月18日(日) 午後2時～3時

場所：サンスクエア堺「堺市立勤労者総合福祉センター」2階 第1会議室

準備書の説明

(事業者)

- ・「2025年日本国際博覧会 会場外駐車場 環境影響評価準備書」の内容について、「環境影響評価の手続き」、「事業計画の内容」、「環境影響評価結果の概要」、「事後調査の方針」、「環境影響評価準備書の縦覧・意見募集について」を説明。

準備書に係る質疑応答部分

(住民)

- ・交通量の予測で用いる工事用車両の台数は、延べ台数又は実際使用する工事用車両の台数のどちらであるか。

(事業者)

- ・実際使う工事用車両の台数ではなく、1日あたりの延べ台数である。

(住民)

- ・走行ルートについて、大阪臨海線を走行する工事用車両は、八幡三宝線を通り工事現場へ向かうと思うが、南側から浅香山通交差点を曲がり八幡三宝線を走行する台数と、大阪市内(北側)から阪堺大橋を渡り、大阪臨海線を通して八幡三宝線を走行台数はどちらの方が多いか。大阪臨海線は現状でも混雑しており、南側及び北側からの進行ルートによって道路の混雑状況が異なってくる。

(事業者)

- ・工事用車両について、実際に工事に入る際は、原則高速道路を使うよう指導することを予定している。ただし、合理的な理由があり、一般道を使わざるを得ない場合もあり得るため、その影響について、予測評価を行う上では、南側、北側からの進入台数をそれぞれ設定することは困難なので、工事最盛期に発生する最大の工事用車両台数で南側、北側とも予測を行っている。

(住民)

- ・契約する工事業者によって、南側と北側から進入する工事用車両台数がある程度予測できるのはないか。

(事業者)

- ・工事については契約していない状況であるため、現時点ではどれぐらいの台数になるか明言できない。

(住民)

- ・北側から進入する工事用車両についても、基本的に八幡三宝線を走行することを指定するとの認識でよいか。八幡三宝線の北側に松屋大和川通があるが、トラックの抜け道として使用され、道が狭く住宅地も近いため危険であり、渋滞が発生する場合があるため、松屋大和川通を走行しないよう周知・徹底いただきたい。

(事業者)

- ・工事計画を策定する際に参考にさせていただく。

以上